



平成 26 年 9 月 18 日
公益財団法人先端医療振興財団
独立行政法人理化学研究所

「滲出型加齢黄斑変性に対する自家 iPS 細胞由来網膜色素上皮シート移植に関する臨床研究」 第 1 症例目の被験者の退院について

「滲出型加齢黄斑変性に対する自家 iPS 細胞由来網膜色素上皮 (RPE) シート移植に関する臨床研究」において、平成 26 年 9 月 12 日に先端医療センター病院にて移植手術を実施し、その後同院に入院をしていた第一症例目の被験者が、本日退院しましたのでご報告いたします。

1. 被験者について

兵庫県在住、70 歳代、女性

※ 被験者の個人情報の保護の観点により、被験者に関するその他の情報の公開を控えさせていただきます。

※ 被験者からは「経過を静かに見守ってほしい。」とのコメントをいただいております。被験者本人の強い希望により、被験者本人および家族を特定し、取材活動に及ぶ等の行為については、厳に慎みいただきますようお願いいたします。

2. 移植手術について

実施場所：先端医療センター病院（神戸市中央区港島南町 2 丁目 2 番）

手術日時：平成 26 年 9 月 12 日（金）14 時 20 分～16 時 20 分

手術内容：約 1.3mm×3mm の RPE シート 1 枚を被験者眼球（片目）の網膜下に移植

3. 術後の経過および今後の情報提供について

合併症等の有害事象の発生はなく、経過は良好です。移植した RPE シートは所定の位置に留まっており異常は見られません。ただし、RPE シート移植の安全性や視機能への影響を客観的に評価するためには、約 1 年間の観察期間が必要です。そのため、次の経過や結果に関する情報提供は、移植 1 年後以降を予定しています。なお、重篤な有害事象が生じた場合等はこの限りではありません。

4. 栗本 康夫（神戸市立医療センター中央市民病院 眼科部長 兼 先端医療センター病院眼科統括部長）のコメント

「本日、第一例目の患者さんが退院されました。経過も良好で、ひとまず安堵をしている所です。これからも患者さんが良好な経過を辿られるよう、診療に最善を尽くして参ります。また、臨床研究としてはこれからが本番となりますので、関係機関とも連携を図りながら、万全の体制で慎重に評価をして参りたいと考えております。」

5. 高橋 政代（理化学研究所 網膜再生医療研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー）のコメント

「このプロジェクトに協力していただいた、たくさんの方々に感謝しています。」

【問い合わせ】

先端医療振興財団 総務課

TEL : 078-306-1700 FAX : 078-306-1708

理化学研究所

発生・再生科学総合研究センター 国際広報室

TEL : 078-306-3092, 3310 Email : cdb-pr@cdb.riken.jp

広報室

TEL : 048-467-9272 FAX : 048-462-4715